

# THE PRINCIPAL REPORT



御殿場西高校 校長通信 7月号

### 校長通信はじめます

御殿場西高校の校長になって3ヶ月が経過しました。少しずつ学校の雰囲気も変わりつつあると感じていますが、日々どのような活動があり、どのような出来事が起こっているのかをリポートしていきたいと思います。毎月発刊していきます!



## 新しい時代に向けた、新しい御殿場西高校の学び

御殿場西高校の皆さん、新年度が始まって早くも4ヶ月が経過しましたが、振り返ってみていかがだったでしょうか。新しいビジョンでスタートした今年度。昨年までとは全く違う考え方のもとで皆さんは過ごしてきましたが、どんな4ヶ月間でしたか。

私は、学校生活を送る上で最も大事なことは、逆算して過ごしていくことだと思っています。卒業後のなりたい自分、こんな大人でありたい、こんな先輩でありたいというイメージがあります。そうなるためにはどんな過ごし方をしたらいいのか、今どんな努力をしたらいいのか、これからどんな努力が必要になるのかを考えて生活することが本当に大事なんだと、大人になった今だからこそ思います。ぜひ、まだまだこれから一年間は続きますので、この逆算思考を念頭に過ごしてほしいと思います。

今年から掲げているものとして、GRIT(失敗しても素早く立ち直るしなやかな強さと、最後までやり切る力)があります。やってみることなんです。やってみてどんどん失敗していきましょう。100回チャレンジができる大人になっていきましょう。きっと新しい御殿場西高校で、皆さんはそんな力を伸ばしてくれると思います。



# **GO BEYOND**

# 未来へ挑め

2022年度、4月からスタートした新しい御殿場 西高校。上半期の一大イベントとしては、仰高祭

(文化の部&体育の部)でしたね。この二年間は日本全国で文化祭や体育祭が中止に追い込まれていました。でも、今年は違うぞと。今年は御殿場西高校に「やらない」はNGです。「やらない」「できない」理由を探すのはとても簡単ですが、それで何かが良くなることは基本的にはありません。問題が起こらないというだけです。でも、それって楽しいがですか?みんなの高校生活は1000日間しかなんです。大人たちは「今年は出来なかったな~」で終わるかもしれませんが、生徒たちにはこの一瞬は2度と戻らない大切な時です。私は、やるしか選択肢はないと言い切ります。

ただし、なんでもOKということではありません。

「出来る」「やる」を前提とするには、どうすれば 出来るかを考え抜く課題解決力が求められます。今 回の仰高祭で、生徒たちは目の前の壁を越えるため に、出来る限りの努力をしてくれました。出来なか ったことを数えるよりも、出来たことを数える方が よっぽどいいはずです。

そして、実際にやってみてどうだったか。最高すぎ ましたよね。こんなに盛り上がった文化祭や体育祭 ありました?他校と比べてどうですか?

大切なことは「考え方」なんですね。





### 保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、 心より感謝申し上げます。 4月から雰囲気も少しずつ 変わりつつある本校ですが、これまで以上に生徒一人 ひとりを大切にする学校であり続けたいと思います。

さて、ここ最近、校長室に生徒がたくさん来てくれるようになりました。ドアをいつでもオープンにしているからか、廊下を通り過ぎる時に声をかけてくれたり、お昼を一緒に食べたり、委員会のミーティングをしたりと、校長室はもはや謎の空間になりつつあります。先日は、英検準1級の2次面接の対策もしました。もはや多目的室と化しつつありますが、名前をまないかんじゃないかと本気で思い始めました。私は生徒が何気なくこの部屋に入ってきてくれることが何よりも嬉しくて、生徒と関わることのできる時間は、1日の中で大切な時間になっています。

朝、生徒たちが登校する際に、校門に立っていますが、保護者の皆様が挨拶を返してくれるのも朝の楽文としてなっています。時にはスクールドッグのアンディと一緒に2人で挨拶運動していますが、こちら自由できる素敵な時間だと思っています。アンディ!アンディ!」と表したちが嬉しそうに呼ぶ姿を見ると、こちらもして強なただけます。ちなみにもう1頭はカールです。もりまただけますので、暑さも決して強くはあテランならが、生徒の心を掴むのはベテランならではのテランならがあるようです。私もカール爺さんからたくさんのことを学ばせてもらっております。

まだまだ今年度始まったばかりです。今後とも何卒よ ろしくお願いいたします。いい夏休みになりますよう に。